

平成30年度活用事業のご紹介

事業名：青少年教育事業（基山町との交流事業）

対馬市とゆかりのある基山町に中学生を派遣し、スポーツや文化・歴史交流事業を実施しました。

- ①本市内の中学校野球部員と基山町中学校野球部員による交流試合。
- ②今後、更に友好関係を深めるために基山町内の文化・歴史を学習しました。

ふるさと納税充当額	600,000円
-----------	----------

事業名：対州馬活用プロジェクト（あそうベイパーク内の厩舎建設設計委託）

日本在来馬の一種である対州馬の保存と活用を図るため、対州馬保存計画に基づき対州馬の増頭対策として、あそうベイパーク内に厩舎を建設のため、設計を委託しました。

ふるさと納税充当額	1,300,000円
-----------	------------

事業名：資源管理・環境保全対策事業

対馬の海の魅力と重要性を広く情報発信するため、対馬の特徴的な磯場の歴史や現状の調査、対馬近海に生息する魚類を細部にわたり撮影した対馬魚類図鑑の随時更新、また食害生物の有効活用の一環として、イスズミを美味しく食べるレシピ集等の制作に取り組みました。

ふるさと納税充当額	2,000,000円
-----------	------------

事業名：水産多面的機能発揮対策事業

藻場は水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしており、水産物の安定供給や水質浄化、生態系を維持する上でも必要であるため、保全活動として食害生物の除去(ウニ類・魚類)や海藻の種苗投入等の事業を実施しました。

ふるさと納税充当額	4,000,000円
-----------	------------

事業名：縁結びプロジェクト事業

結婚を希望する島内外女性と島内男性との出会いの場を創出するセミナーやイベント等を開催しました。

ふるさと納税充当額	4,000,000円
-----------	------------

事業名：ツシマウラボシシジミ保全事業

対馬固有種として対馬市の天然記念物に指定され、環境省の国内希少野生動植物にも指定されている「ツシマウラボシシジミ」がシカ食害による植物相の崩壊により野生化で絶滅状態になっているため防護柵で囲った保護区域を設定し、生息環境の保全再生を図りました。

ふるさと納税充当額	4,400,000円
-----------	------------

事業名：生物多様性保全事業（ツマアカスズメバチ駆除）

平成27年3月に特定外来生物に指定されたツマアカスズメバチの生息状況（特に営巣状況）を把握することで、巣の除去等の防除を順応的に実施し個体数を減少傾向に転じさせ、対馬固有の生態系を保全し島外の未侵入地域への拡散の防止を図りました。

ふるさと納税充当額	5,000,000円
-----------	------------

事業名：朝鮮通信使によるまちづくり事業

朝鮮通信使キャラクターや漫画「宗 義真と対馬三聖人」の制作、解説看板の設置を行い、朝鮮通信使によるまちづくりを推進しました。

ふるさと納税充当額	7,500,000円
-----------	------------

事業名：U・Iターン推進事業費（移住定住推進事業補助金）

U・Iターン希望者に対し、予算の範囲内において対馬市移住・定住支援補助金を交付しました。

ふるさと納税充当額	8,000,000円
-----------	------------

事業名：ふるさと納税返礼システム費（返礼品代）

ふるさと納税をして頂いた方へ送付する返礼品の一部を負担する費用として活用しました。

ふるさと納税充当額	28,000,000円
-----------	-------------

事業名：学校管理費（小・中学校タブレット通信費）

21世紀にふさわしい学びの実現に向けて、教育の質の向上を図り、教育分野におけるICTの有効活用を積極的に推進するため、小・中学校にタブレット端末を計1320台導入し、その通信費の一部として活用しました。

ふるさと納税充当額	40,000,000円
-----------	-------------